

引き続きシロイチモジヨトウに注意を！

1 加害作物

あぶらな科野菜、ねぎ類、しゅんぎくなど

2 発生と今後の予想

シロイチモジヨトウについて、8月16日に注意報を発出しているが、フェロモントラップ誘殺頭数が、9月下旬においても複数の調査地点で、平年値を大きく上回った(図1)。9月の巡回調査では、露地ねぎ、キャベツで発生が見られた。

また、大阪管区气象台の近畿地方1か月予報(10月12日発表)では、向こう1か月の気温は平年より高い確率が50%となっており、引き続き多発傾向となる可能性が高い。

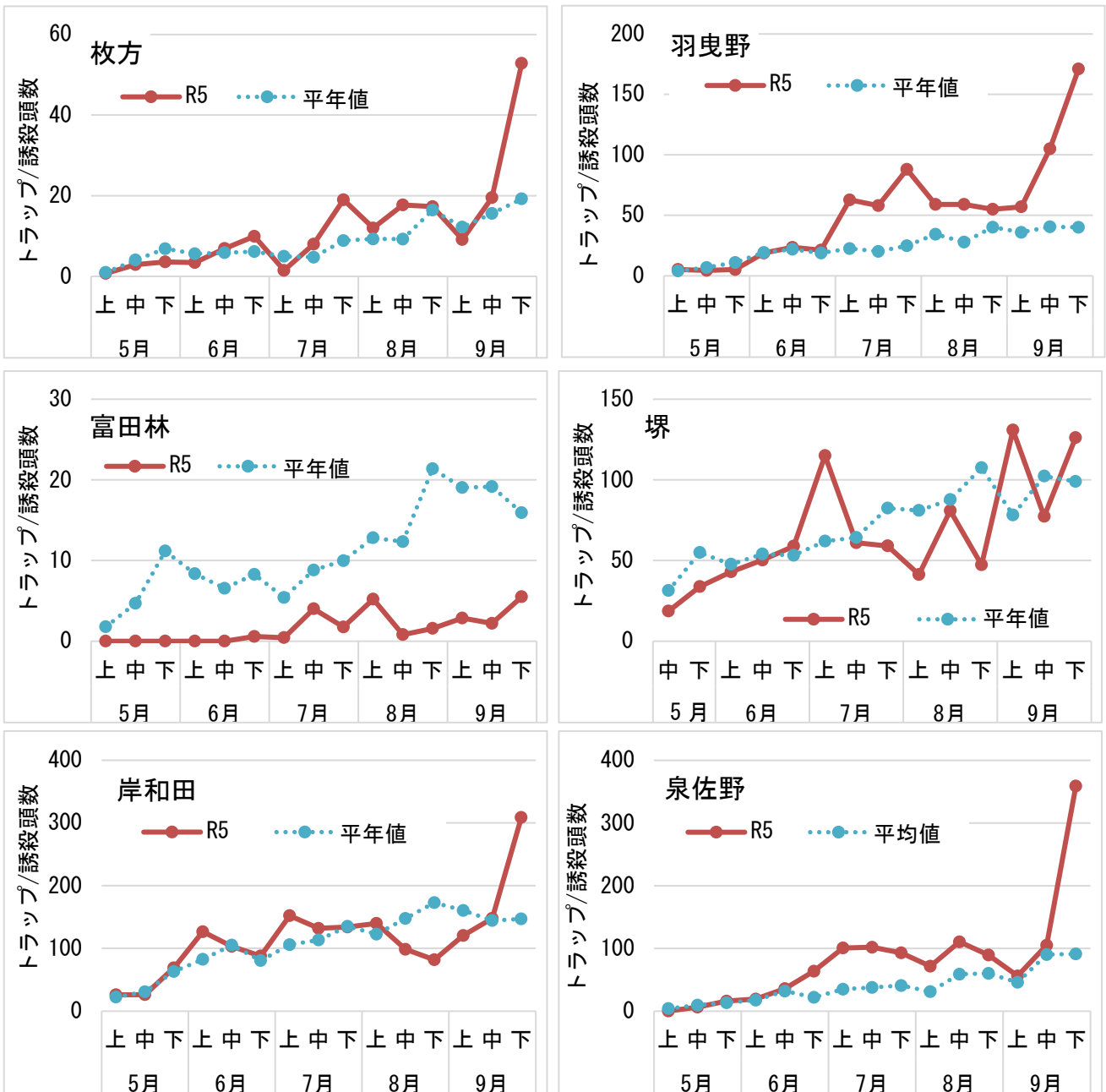


図1 シロイチモジヨトウの1日あたりフェロモントラップ誘殺頭数

3 生態と被害

- (1) 卵は直径約 0.4mm の球形で、数十～数百個程度が一つの塊となっており、黄白色～灰白色の毛におおわれる(図2)。
- (2) 卵からかえった幼虫は、しばらく集団で葉を食害し、成長すると分散して単独で加害する。
- (3) 幼虫の体色は、若齢では淡緑色、中齢以降になると淡緑色、緑褐色、暗褐色と変異に富む。若齢、中齢幼虫の体長は約 10～20mm、老齢幼虫(図3)は体長約 30mm である。
- (4) 幼虫は5齢を経て土中で蛹になり、気温 25℃では9日ほどで羽化する。
- (5) 成虫(図4)は体長約 12mm、翅開帳時は約 30mm である。前翅は灰褐色で、黄褐色の環状紋がある。夜間に活動し、長距離移動する。昼間は葉裏や雑草地に潜む。



図2 シロイチモジヨトウ卵塊
((地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所提供)



図3 ねぎの葉を加害する
シロイチモジヨトウ幼虫



図4 シロイチモジヨトウ成虫

4 防除対策

○基本的な防除

- (1) ほ場の見回りをこまめに行い、卵塊や分散前の幼虫は、見つけしだい葉ごと取り除く。
ねぎでは、幼虫が葉身内に食入している場合があるので、注意して観察する。
- (2) 残さが発生源となるので、栽培終了後は放置せず、速やかにほ場外に持ち出し処分する。

○侵入・産卵防止

- (1) ハウス栽培では、開口部を4mm以下の目合いのネットで被覆する。
- (2) 露地栽培では、4mm以下の目合いのネット等でべたがけ、トンネルがけを行う。

○薬剤防除

- (1) 老齢幼虫(体長約 30mm)になると薬剤の感受性は大幅に低下するので、中齢幼虫までに薬剤を使用する。
- (2) 近年、薬剤に対する抵抗性が発達している(有機リン系、ピレスロイド系など)。
- (3) 薬剤抵抗性のさらなる発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避ける(系統については別添防除薬剤例、病害虫防除指針などを参照)。

※参考: カラー技術資料「シロイチモジヨトウ生態と防除対策」

<http://www.jppn.ne.jp/osaka/color/shiroichi/shiroichipamph.pdf>



＜別添＞ シロイチモジヨトウの防除薬剤例

作物	薬剤名	系統(IRAC)	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
キャベツ	トルネードエース DF	オキサジアジン系 (22A)	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内
	プレオフロアブル	ピリダリル(UN)	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内
	グレーシア乳剤	イソオキサゾリン系 (30)	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内
	スピノエース顆粒水和剤	スピノシン系(5)	2,500～ 5,000倍	収穫3日前まで	3回以内
	アニキ乳剤	アベルメクチン系 (6)	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内
	コテツフロアブル	ピロール系(13)	2,000倍	収穫前日まで	2回以内

作物	薬剤名	系統(IRAC)	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
ねぎ	コテツフロアブル	ピロール系(13)	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内
	ロムダンフロアブル	ジアシル-ヒドラジン系 (18)	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内
	プレオフロアブル	ピリダリル(UN)	1,000倍	収穫3日前まで	4回以内
	ベネビアOD	ジアミド系(28)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内

作物	薬剤名	系統(IRAC)	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
しゅんぎく	アフーム乳剤	アベルメクチン系 (6)	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内

作物	薬剤名	系統(IRAC)	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
野菜類	デルフィン顆粒水和剤	BT(11A)	1,000倍	発生初期 但し 収穫前日まで	－
	ゼンターリ顆粒水和剤 ※1	BT(11A)	1,000倍	発生初期 但し 収穫前日まで	－

※1 野菜類(はくさいを除く)で登録

- ・登録は令和5年10月13日現在
- ・最新情報は農林水産省「農薬登録情報提供システム」で確認してください。

(<https://pesticide.maff.go.jp/>)